

みんな なかよし 日宇小学校 ～「思い合う子」「よく考える子」「たくましい子」～



時計台



佐世保市立日宇小学校

令和4年度 学校だより Vol.21

令和5年2月3日

文責 校長 永柄 孝知

「言葉」を「言刃」にしないために

今日は「節分」です。学校内では、各学年教室に「心の鬼を追い払おう」と子どもたちが自分の心に住む鬼（直したいところ）を書いて掲示してあります。

先日の長崎新聞コラム欄に、「言葉は言刃になる」との記事がありました。学校が子どもたちに育てるべき力として、「自分の思いや考えを相手に伝える力」があります。そのため手段は、「書く」か「話す」かですが、普段の生活の中では、「話す」が圧倒的に多いと思います。普段の生活の中での何気ない一言が、相手の心を傷つけることがあります。まさに「言葉」が「言刃」になる時です。言った方は忘れても、言われた方は忘れられず、癒えることなく思い悩むこともあります。

このような思いをする子がいないように、学校では、「自分が言われて嫌なことは人には言わない」ことを粘り強く指導しています。でも、「言われて嫌なこと」は人それぞれで違います。だからこそ育てなければならないものは「相手の気持ちを推し量る力」です。相手の思いを考え、自分との違いを自覚し、相手に応じた適切な言い方を考えるためにも、この力は不可欠です。この「相手の気持ちを推し量る力」は、学校だけではなく、日々の生活の中で状況に応じ、「相手はどう思うかな？」と繰り返し本人へ問いかけて、自分で考えさせ、少しずつ育んでいかなければなりません。大切なのは、自分で考え、相手の気持ちを推し量り、考え出すことです。正解が無い問いかけかもしれませんが、「その言葉を聞いた相手はどんな気持ちになるかな？」と何度も繰り返し考えることが大切です。

保護者の皆様も、様々な場面で、お子様が自分の考えを伝えていく中で、相手の気持ちを考える「相手の気持ちを推し量る力」を育てただけだと考えます。学校でも、粘り強く子どもたちに「相手の気持ちを推し量る力」を育てていきます。そして、心の鬼を追い払い、「言葉」を「言刃」にしないようにしていきます。

今年度の学びの成果をお見せします。



来週は、本年度最後の授業参観を予定しています。各学年学級で、今年度の成長や頑張りが保護者様にも伝わるように準備も進めています。書初めも掲示しています。授業参観後は、親子レクリエーションや懇談会も予定しています。大変お忙しいとは思いますが、最後まで御参加くださいますようお願いいたします。

【お願い】

- 「お子様の家庭での過ごし方」のアンケートへの御協力、大変ありがとうございました。学校でも指導できることは行ってまいりますが、スマホでのSNSトラブルが、学校での友達関係に影響していることがあります。どうかお子様のスマホやSNSの取扱いは、保護者の目の届くところで行い、使い方や使用時間などルールを決めて守らせるようお願いいたします。



本校ホームページも適宜更新していますので、御確認をお願いします。

← 日宇小学校ホームページ <http://www.city.sasebo.ed.jp/es-hiu/>

日宇小学校 緊急連絡用メールアドレス hiues6904@gmail.com →

